

# 臍ヘルニア 圧迫固定法



臍ヘルニア圧迫固定法は、おへそを綿球などで圧迫してヘルニアを治す治療法です。

基本的に赤ちゃんに痛みのない治療で、当院では経過観察とテープ交換のため週1回、平均4~6週で治療を終えられる方がほとんどです。

臍ヘルニアは赤ちゃんの約5%に見られ、多くの場合3歳ごろまでに自然に治りますが、ヘルニアが治っても飛び出していた皮膚がシワシワに残っていたり、(余剰皮膚)、硬くなった組織が凹まないで臍突出症(いわゆるデベソ)となって残る場合があります。

この固定法はヘルニアが早く治るだけでなく、余剰皮膚や臍突出症を防ぐ効果があるといわれているため、当院では積極的に治療を行っています。

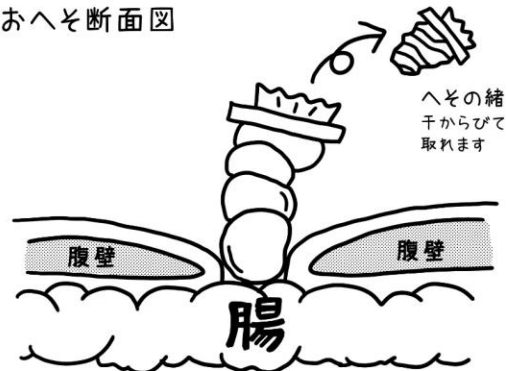
## おうちでの過ごし方

- 固定したままシャワー浴ができます。
- 不機嫌や嘔吐を繰り返すことがあれば、テープを剥がして過ごしてください。
- おへそが臭う時、テープかぶれが出てきた時は予約を早めて受診してください。

い西にかなことがあれば何でも  
ご本目言談ください!!



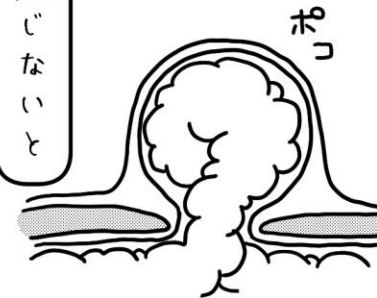
おへそ断面図



赤ちゃんのへその緒が  
取れる時…

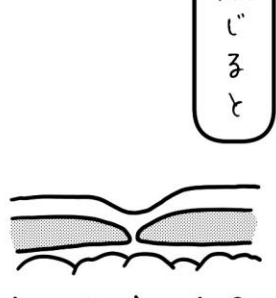
この後、腹壁がくっついて閉じるのですが…

閉じないと



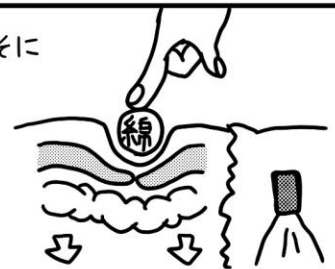
腹圧がかかる(泣く・いきむ)と腸が飛び出してしまう。これが臍ヘルニアです。

閉じると

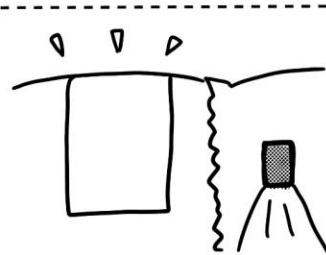


おへそが完成します。

①丸い綿球をおへそに押し込めて…



治し方



②テープでしっかり固定!  
(肌かぶれに注意)



これを週一回交換し続け  
ヘルニア門が閉じるまで  
数回通院して頂きます。